

令和4年度（2022年度）

おごせの教育

越生町のマスコットキャラクター
うめりん



越生町教育委員会

越生町民憲章

わたくしたちは奥武蔵の自然と、歴史や伝統に恵まれた越生町民であることを誇りに思い、さらによりよいまちにするため町制施行100周年にあたりここに憲章を定めます。

お おもいやりと助けあいで、
平和なすみよいまちをつくります

ご ゴールめざしてひた走る
健康で明るいスポーツのまちをつくります

せ せせらぎと緑のなかに
梅の香ただよう美しいまちをつくります

ま まなぶ心を大切にし
文化の香り高い伝統のあるまちをつくります

ち ちからをあわせ楽しく働き
活気ある豊かなまちをつくります

〔平成元年4月制定〕

越生町の木・花・鳥



木：うめ



花：やまぶき



花：つつじ



鳥：うぐいす

刊行に寄せて



越生町長 新井 康之

越生町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、関東平野と外秩父山地の接点にあり、豊かな緑に恵まれ、その中央に越辺川が流れる美しい景観の町です。

また、関東三大梅林の一つである越生梅林、県内第一位の巨樹・上谷の大クスなど県指定の名勝や天然記念物をはじめ、町の各所に貴重な文化財が点在しており、豊かな歴史と文化に彩られたまちとして発展してまいりました。

このような自然や歴史・文化遺産に恵まれた越生町では、現在、朝霞市、宮代町、台東区、豊島区、睦沢町と自治体間交流を進めております。また、越生町地域おこし協力隊の活動により、町の魅力を県内外に情報発信するなど、地域の活性化や観光客の増加に取り組んでいます。

さて、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、何度となく流行を繰り返し、その影響が長期化する中、本町では「安心元気な越生町」のスローガンのもと、各種事業に取り組んでまいりました。

学校教育では、すべての小中学校に一人一台のタブレットパソコンが配備され、ICT教育の活用と発展に向けてICT支援員を配置するなど環境を整備しました。近年の高度情報化、国際化など変化の激しい時代を生きる子供たちに、学びの機会を確保し、今後も将来の郷土を担い世界に通用する人材を育成するため、質の高い教育環境の実現を目指してまいります。

施設面では、小中学校並びに公民館体育館等の環境改善工事を行い、安全対策やトイレ改修などの環境改善を図ってまいりました。今年度は小中学校体育館のLED照明改修工事や、やまぶき公民館の空調設備改修工事を予定しており、引き続き皆様により安心、安全に施設を利用いただけるよう整備を進めてまいります。

今後とも、恵まれた教育環境や自然と特色ある歴史的な文化財などを活用し、魅力あふれる越生町を発信し、「皆様とともに考え、ともに働き、ともに創る、安心元気な越生町」の実現を、教育委員会と連携して進めてまいりますので、関係の皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

目次

刊行に寄せて

越生町教育委員会 挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

I 教育行財政

- 1 歴代の教育委員会委員長・委員・教育長・・・・・・・・・・ 2
- 2 越生町教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 越生町教育行政重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 教育財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 5 児童・生徒等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

II 学校教育

- 1 町立小・中学校の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 越生小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 梅園小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - 越生中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 学校の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 3 学校保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 4 学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

III 生涯学習

- 1 生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 2 スポーツ振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 3 公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 4 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 5 文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - 主要事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - 指定文化財等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

教育委員会委嘱等委員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

越 生 町 教 育 委 員 会



教育長
原口 仁



教育長職務代理者
青柳 高



委 員
竹内 晴美



委 員
内藤 久美子



委 員
仲 晃良

挨 拶

越生町教育委員会教育長

原 口 仁

「令和4年度 おごせの教育」の発行にあたり、日頃より越生町教育行政の推進にご理解、ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

越生町教育委員会は、学校教育、生涯学習の各分野の発展のため、令和元年度から令和5年度までを計画期間とした第3次「越生町教育振興基本計画」を策定し、さまざまな施策を展開しております。

同計画では、教育を取り巻く環境や、越生町の教育の現状を踏まえ、基本理念として『「人を育て文化を育む越生教育」を掲げ、子育てと教育のまちを目指す』また、『豊かな自然に恵まれた越生町のおよそ「文化」を生かし、社会の中で役割を果たすことのできる自立した「人」を育成することを目指す』と定め、各分野の基本目標を掲げ、越生町教育の振興及び充実のため取り組んでおります。

学校教育では、2学期制の導入、土曜日授業の実施、町費学習支援員や常勤のALTの配置、越生町独自の35人学級の編成などに取り組み、小中学生の確かな学力や自立する力の育成に取り組んでまいりました。その効果を検証するための一つとして、昨年度より二学期制の成果や課題等を明らかにするため、「二学期制継続検証委員会」に諮問を行い、検証を進めていただいております。今後も子供たちの質の高い学力育成を目指し、情報化や国際社会に対応できる力を育てるとともに、小中学校9年間を見通して一貫性のある指導を行い、さらなる学習内容の充実や教育環境の整備を図ってまいります。

生涯学習面では、文化施設やスポーツ施設等が皆様に安心・安全に利用いただけるよう、施設の改修、環境整備に計画的に取り組んでおります。また、生涯学習関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業が中止せざるを得ない状況が続いておりました。今年度は、感染拡大防止に最大限配慮しながら、できる限り各種事業が再開できますよう、各種文化・体育団体の皆様と連携を図り、学びの場を提供してまいります。

今後とも、町民の皆様をはじめ、町及び関係する皆様方との連携を図りながら教育行政を推進して参りたいと存じますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 教育行財政

1 歴代の教育委員会委員長・委員・教育長

(昭和30年2月11日の町村合併以降)

歴代の委員長(教育長職務代理者)

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
町田 幸純	S30. 2. 24	S30. 8. 31	町田 至朗	S59. 10. 1	H元. 9. 30
畑仲 半三	30. 9. 13	31. 9. 30	岩鼻 澄	H元. 10. 1	7. 3. 31
長谷 脛輔	31. 10. 1	32. 11. 30	小島 弘一	7. 4. 1	18. 9. 30
新井 清次郎	32. 12. 1	36. 9. 30	吉澤 操	18. 10. 1	25. 3. 31
大附 甫	36. 10. 1	41. 9. 30	浅見 登	25. 4. 1	27. 9. 30
畑 盛太郎	40. 10. 1	46. 7. 4	※ 浅見 登	27. 10. 1	29. 9. 30
島野 芳彦	46. 7. 5	49. 9. 30	原口 仁	29. 10. 1	R 3. 9. 30
村田 清一	49. 10. 1	55. 9. 30	青柳 高	R 3. 10. 1	

※ H27. 10. 1 から教育長職務代理者

歴代の委員

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
町田 幸純	S30. 2. 9	S30. 8. 31	田口 次良	S59. 10. 1	S62. 5. 27
上 嘉平	30. 2. 9	30. 8. 31	岩鼻 澄	59. 10. 1	H 7. 3. 31
山中 悠賢	30. 2. 9	30. 8. 31	宮崎 武男	60. 4. 1	S60. 9. 7
長谷 脛輔	30. 2. 9	33. 9. 30	畑仲 鶴雄	61. 1. 1	H 4. 3. 31
石井 由成	30. 2. 24	30. 8. 31	武内 照文	61. 10. 1	5. 9. 30
木村 政吉	30. 9. 1	31. 9. 30	金子 猛雄	H元. 10. 1	7. 5. 31
畑仲 半三	30. 9. 1	38. 4. 20	吉澤 敏	13. 10. 1	13. 9. 30
比留間 明	30. 9. 1	36. 9. 30	小島 弘一	4. 6. 10	18. 9. 30
佐藤 重吉	30. 9. 8	31. 9. 30	新井 英利	5. 12. 15	10. 9. 30
大附 甫	31. 10. 1	41. 9. 30	小久保 幸作	7. 6. 7	12. 9. 30
新井 清次郎	31. 10. 1	51. 9. 30	柳澤 一裕	7. 6. 7	13. 9. 30
石井 佐助	33. 9. 7	36. 3. 31	加藤 照子	10. 12. 9	20. 9. 30
島田 邦雄	36. 7. 1	38. 4. 20	吉岡 正人	12. 12. 5	20. 3. 31
松坂 久平	36. 10. 1	40. 9. 30	堀 武美	13. 10. 1	17. 9. 30
畑 盛太郎	38. 9. 8	46. 6. 30	新井 雄啓	13. 10. 1	24. 11. 20
町田 静夫	38. 9. 18	41. 9. 30	吉澤 操	17. 10. 1	25. 3. 31
五十嵐 金平	40. 10. 1	44. 9. 30	深田 きよ	18. 10. 1	22. 9. 30
小峰 源一郎	41. 12. 22	42. 12. 9	利根川 常彦	20. 10. 1	28. 9. 30
島野 芳彦	41. 12. 22	50. 9. 30	堤 憲章	20. 10. 1	24. 9. 30
村田 清一	43. 3. 14	60. 1. 26	竹内 晴美	22. 10. 1	
佐藤 彌彦	46. 10. 1	59. 9. 30	内藤 久美子	24. 10. 1	
町田 至朗	46. 10. 1	H元. 9. 30	浅見 登	25. 4. 1	29. 9. 30
新井 一郎	50. 10. 1	S56. 7. 31	吉澤 勝	25. 4. 1	27. 9. 30
酒本 隆男	51. 10. 1	53. 12. 31	仲 晃良	28. 10. 1	
管野 賢美	54. 3. 9	59. 9. 30	原口 仁	29. 10. 1	R 3. 9. 30
小川 角次	56. 9. 9	H 3. 9. 30	青柳 高	R 3. 10. 1	

歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
五十嵐 金平	S30. 2. 2	S31. 3. 31	吉澤 敏	H 3. 10. 2	13. 9. 30
関根 要一	31. 10. 1	32. 3. 31	新井 雄啓	13. 10. 1	24. 11. 20
比留間 明	32. 4. 1	36. 9. 30	吉澤 勝	25. 4. 1	27. 9. 30
新井 清次郎	36. 10. 1	51. 9. 30	※ 吉澤 勝	27. 10. 1	R 3. 9. 30
新井 一郎	51. 10. 1	56. 7. 31	原口 仁	R 3. 10. 1	
小川 角次	56. 10. 1	H 3. 9. 30			

※ H27. 10. 1 から新教育委員会制度による教育長

2 越生町教育振興基本計画

第1次	平成21年度～平成25年度
第2次	平成26年度～平成30年度
第3次	令和元年度～令和5年度

I 第1次計画、第2次計画の主な取組

<学校教育>

- 越生町「3つの⑥」の実践〔平成17年～〕
- 学習指導要領への対応、授業時数の確保から2学期制を実施〔平成19年～〕
- 文部科学省委嘱の学力向上実践研究〔平成20～22年〕
- 土曜授業の実施〔平成23年～〕
- 義務教育9年間を見通した、小中一貫教育の実施〔平成26年～〕
- 越生小学校と梅園小学校の小小連携〔平成26年～〕
- 国立教育政策研究所委嘱の教育課程（理科）の研究〔平成27～30年〕
- 地域版サマースクールの実施〔平成29年～〕
- 越生子ども未来大学（子ども大学 越生）の開設〔平成29年～〕
- 小学校1年生から中学校3年生までの「家庭生活・家庭学習のすすめ」の実践〔平成29年～〕

<生涯学習>

- 梅園コミュニティ館の公民館的な活用を開始〔平成24年度～〕
- ラジオ体操の普及とNHK夏期巡回ラジオ体操の開催〔平成24年度〕
- 公民館等使用料の原則無料化を実施〔平成25年度～〕
- 図書館の開館時間の見直しや読書通帳等の導入〔平成26年度～〕
- 「ハイキングのまち」と連携した文化財の整備〔平成26年度～〕

II 越生町が目指す教育

1 基本理念

「人を育て文化を育む越生教育」を掲げ、子育てと教育のまちを目指す。
豊かな自然に恵まれた越生町のよき「文化」を生かし、社会の中で役割を果たすことのできる自立した「人」を育成することを目指す。

2 基本方針

本計画の基本理念を踏まえ、今後5年間に取り組む3つの基本目標を示す。

学校教育の充実

学校においては、基礎的、基本的な事項を確実に定着させ、それらを活用し、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断・行動できる能力の育成を図ってい

く。そして、豊かな人間性や健康でたくましい心身を育む等、「知・徳・体」のバランスのとれた9年間の一貫性のある教育を行い、「生きる力」を育成することを目標とする。

家庭・地域の教育力の向上

家庭教育が子供に与える影響は大変大きく、家庭教育の大切さや子供たちが基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を推進する。

また、子供たちの居場所づくりや学習支援などを行う環境を整備するに当たり、地域住民の積極的な参加を目指す。

生涯学習の推進

生涯学習においては、一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進、越生が誇る歴史文化の継承と活用、生涯学習施設の環境整備の3つの基本目標を定める。行政だけでなく、学校や地域、民間団体などと連携を図りながら事業を推進し、町民が生きがいをもって主体的に生涯学習に取り組むことができることを目標とする。

3 基本目標と取組

(1) 学校教育の充実

- ① 確かな学力と自立する力の育成
 - 個に応じたきめ細やかな指導
 - 幼保・小・中のなめらかな接続
 - 家庭生活・家庭学習の充実
- ② 豊かな情操と健やかな心身の育成
 - 道徳教育、人権教育の充実
 - 食育教育の充実
 - 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成
- ③ 学習環境の整備・充実
 - 安全・安心な環境整備
 - 教育機器の整備・充実
 - 学校図書館の整備
 - 地域教材の活用
- ④ 教職員の指導力向上
 - 教職員研修の充実
 - 町費職員等の活用促進
 - 小中一貫教育の推進
 - 人事交流の活性化

(2) 家庭・地域の教育力の向上

- ① 学校運営協議会制度の導入
 - 学校・地域の連携・協働の強化
 - 小中一貫教育の推進
- ② 越生町「3つの⑥」の推進
 - 大人が手本を示すまちづくり
 - 発達の段階に即した「3つの⑥」の推進
 - 幼保・小・中学校の連携強化
- ③ 学校応援団活動の推進
 - 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援
 - 越生町の人的資源の活用
 - 児童・生徒の体験活動等の充実
- ④ 家庭教育支援体制の充実
 - 家庭の教育力向上への支援
 - 「親の学習」の推進
 - 教育に関する相談体制の充実
- ⑤ 安全・安心な町づくり
 - 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援
 - 学校・家庭・地域の連携強化
 - 被害を未然に防ぐ体制づくり

(3) 生涯学習の推進

- ① 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進
 - 文化、芸術活動によるコミュニティの推進
 - スポーツを通じた健康づくりの推進
 - 文化・スポーツ団体への活動支援
- ② 越生が誇る歴史文化の継承と活用
 - ハイキングのまちと連携した文化財の活用
 - 郷土の偉人を生かした取組の推進
 - 文化財の計画的な保護と継承
- ③ 生涯学習施設の環境整備
 - 梅園コミュニティ館の活性化
 - 公民館、スポーツ施設の環境整備
 - 図書館サービスの充実

3 令和4年度越生町教育行政重点施策

越生町教育委員会は、令和元年度に「第3次越生町教育振興基本計画」を策定し、5年間の教育施策の体系を明らかにした。越生町教育行政重点施策は、本基本計画を実現するため、各年度における重点的な取組を定めたものであり、以下が令和4年度に取り組む重点的な事業である。

目 標

- 1 知・徳・体の調和（生きる力）のとれた教育を実践する。
- 2 子供たちのよりよい成長を支える地域の教育力を活用する。
- 3 越生町のよさを生かした文化的及び体育的な町民活動を推進する。

基本方針

1 学校教育の充実

(1) 確かな学力と自立する力の育成

- 町費学習支援員の配置や町独自の35人学級を生かし、学習室等を活用してティーム・ティーチングや少人数指導によるきめ細やかな指導を展開する。
- 2学期制と土曜授業日の特色を最大限に生かして授業時間数を十分に確保し、学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を推進する。
- 外国語活動や外国語（英語）の学習において、各校常駐のALTを活用したり、英語検定の受検など具体的な目標をもたせたりすることで、意欲的に取り組めるように指導する。
- 児童生徒1人1台に配備したパソコンなどのICTを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。また、休校等による学習の著しい遅れが生じないように、オンラインでの授業の準備を整える。
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達など情報活用の実践力を育成し、人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表できるように様々な機会を設け、指導の充実を図る。
- 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育9年間の一貫した教育を推進する。
- 「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」リーフレットや夏休み前の学習成績表などの活用をすすめ、家庭学習の習慣化を強化する。

(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成

- 特別の教科である道徳を中心とした道徳教育を展開し、全ての教育活動を通じて道徳的実践を促す指導を充実する。
- いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。
- 義務教育9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校やいじめ等の問題行動の解消に向け、適応指導教室の活用や、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を強化し取り組む。
- 小学校の低学年・中学年・高学年、中学校の各学年など、それぞれの発達の段階に応じた情報モラルに関して、自ら考え、自他を守る力を育む教育を推進する。

- 越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、創造力を育む。
- 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高める。
- 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進する。
- 体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う学校体育活動を推進する。
- 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り、健康の保持増進を目指した学校体育活動を推進する。

(3) 学習環境の整備・充実

- 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。
- ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備する。
- 小学校の段階から外国語教育のさらなる充実を図るため、小・中学校に常駐のALTを配置する。
- 学校図書館と町立図書館の連携が図れる整備をすすめていく。
- 各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図る。

(4) 教職員の指導力向上

- 教師一人一人が、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付ける。
- ICTを活用した授業を実践するための研修を充実する。
- 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施する。
- 3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。
- 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育9年間の一貫した教育を推進する。(再掲)
- 本町の課題等を近隣市町村と情報共有し、課題解決のための積極的な人事交流を図る。

2 家庭・地域の教育力の向上

(1) 学校運営協議会制度の導入

- これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努める。
- 学校運営協議会と越生町小中学校連合PTAの連携のとれた活動を推進する。

(2) 越生町「3つの⑥」の推進

- 学校・家庭・地域が連携し、様々な機会を捉えて「3つの⑥」を励行する。
- 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの⑥」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じた内容を推進する。
- 新入園児にリーフレットを配布し、「3つの⑥」の啓発を行ったり、幼・保・小・中が「3つの⑥」の視点での共通理解を図ったりすることで、幼・保・小・中の連携を強化する。

(3) 学校応援団活動の推進

- ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援する。
- 学校応援団活動を活用し、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。

- 越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、創造力を育む。
(再掲)

(4) 家庭教育支援体制の充実

- 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。
- 越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。
- 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、発達段階に応じた「親の学習」の機会を増やし、家庭教育の充実を推進する。
- スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭の相談体制を構築する。

(5) 児童生徒の安心・安全の確保

- 通学時の安全確保のため、中学生の自転車通学者はヘルメットを着用する。また、小・中学生とも家庭で自転車に乗る際にも、ヘルメットを着用することを奨励する。
- 保護者会などを活用し、親子で情報モラルについての考える機会を与え、実践力を養う。
- 「地域学校安全指導員(スクールガードリーダー)」、「町内の防犯団体」、「見守り隊(ボランティア)」、「子ども110番の家」などと連携・協力し、児童生徒の安全を確保する。
- 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。
- 学校や学年ごとに送信できる「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に配信し、保護者等に周知する。

3 生涯学習の推進

(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

- 公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、若年層の利用促進を図る。
- 手軽にできるスポーツを通じた健康づくりを推進する。
- サークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。

(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用

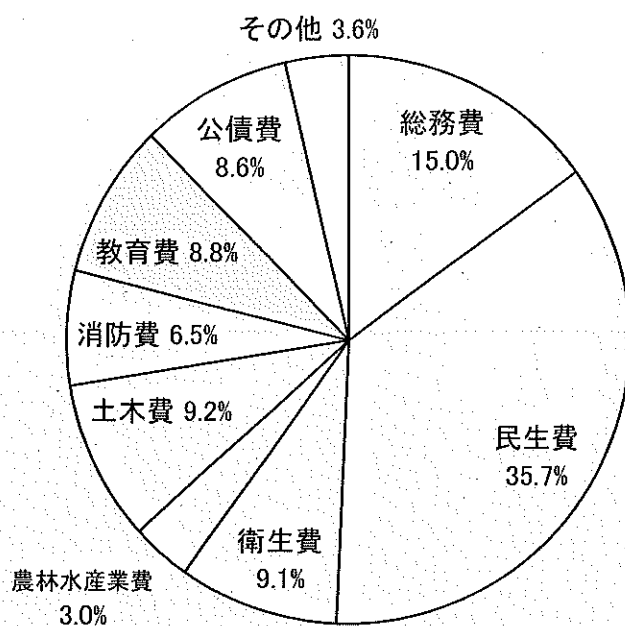
- ICTを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。
- 身近な文化財や郷土にゆかりある人物の理解を通して、郷土への関心を深める。
- 文化財の現状を把握し、実態に即した計画的な保存策を講じる。

(3) 生涯学習施設の環境整備

- 梅園コミュニティ館内に開設した「越生町立図書館梅園分室」への配本の充実を図る。
- 施設の老朽化に対応した計画的な維持管理に努める。
- 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を強化する。
- 越生駅西口総合案内所での新たな図書館サービスの拡充を図る。

4 教育財政

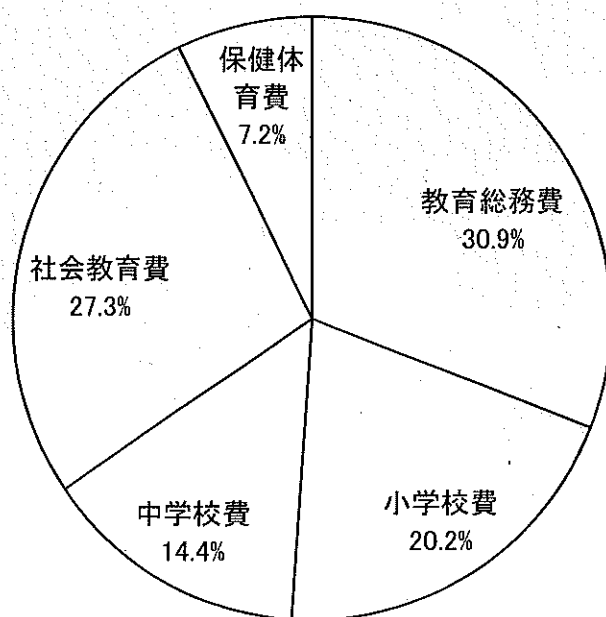
令和4年度一般会計歳出予算



(単位:千円)

総務費	641,864
民生費	1,526,666
衛生費	387,007
農林水産業費	148,711
土木費	391,908
消防費	277,810
教育費	375,577
公債費	368,954
その他	155,503
総計	4,274,000

令和4年度教育費



(単位:千円)

教育総務費	116,142
小学校費	75,718
中学校費	54,024
社会教育費	102,499
保健体育費	27,194
総計	375,577

5 児童・生徒等の推移

5月1日調査

児童・生徒（学級数）の推移

	越生小（学級数）	梅園小（学級数）	越生中（学級数）
平成10年度	670 (19) 1*	201 (7)	537 (15) 1*
11	690 (19) 1	192 (7)	514 (15) 1
12	689 (19) 1	176 (6)	491 (13) 1
13	693 (19) 1	177 (6)	429 (12) 1
14	683 (20) 1	166 (6)	422 (12) 1
15	660 (18) 1	167 (6)	425 (13) 1
16	620 (18) 1	160 (6)	435 (12) 1
17	609 (18) 1	146 (6)	436 (12) 1
18	564 (16) 1	142 (6)	407 (12) 1
19	535 (16) 2	138 (6)	398 (12) 1
20	534 (16) 2	147 (6)	372 (11) 1
21	507 (16) 2	144 (6)	349 (10) 1
22	510 (17) 2	127 (6)	327 (9) 2
23	483 (16) 2	118 (6)	338 (10) 2
24	494 (17) 2	100 (6)	312 (10) 2
25	474 (17) 1	91 (6)	318 (10) 2
26	444 (16) 1	81 (6) 1*	319 (10) 2
27	427 (15) 1	68 (6) 1	319 (10) 2
28	411 (14) 1	60 (6) 1	300 (10) 1
29	389 (13)	60 (6) 1	268 (9) 2
30	370 (12) 2	60 (6) 1	261 (9) 2
令和元年度	370 (12) 2	63 (6) 1	254 (9) 1
2	365 (12) 3	67 (6) 2	236 (8) 1
3	343 (12) 4	73 (6) 2	220 (9) 1
4	310 (12) 3	85 (6) 2	215 (9) 1

*特別支援学級数外数

小・中学校 新入生（卒業生）の推移

	越小新入生（卒業生）	梅小新入生（卒業生）	越中新入生（卒業生）
平成10年度	115 (102)	27 (38)	196 (164)
11	112 (112)	28 (43)	139 (178)
12	112 (109)	29 (26)	154 (199)
13	117 (107)	28 (35)	133 (141)
14	99 (126)	20 (30)	132 (155)
15	99 (119)	30 (31)	158 (135)
16	80 (118)	25 (25)	146 (129)
17	104 (109)	20 (29)	134 (158)
18	69 (112)	26 (27)	133 (138)
19	86 (144)	23 (19)	127 (133)
20	101 (97)	22 (28)	109 (138)
21	72 (76)	21 (28)	114 (123)
22	84 (101)	9 (21)	97 (109)
23	77 (66)	10 (28)	119 (118)
24	80 (81)	11 (25)	94 (99)
25	68 (95)	15 (23)	107 (118)
26	63 (72)	9 (24)	118 (94)
27	61 (80)	8 (12)	95 (107)
28	64 (77)	4 (11)	87 (118)
29	56 (79)	11 (11)	85 (95)
30	60 (65)	13 (15)	88 (88)
令和元年度	61 (60)	17 (9)	77 (88)
2	54 (62)	12 (9)	70 (90)
3	42 (68)	10 (5)	71 (77)
4	42	12	72

II 学校教育

1 町立小・中学校の概要



校長 千装 将志

越生小学校

所在地	入間郡越生町黒岩251番地
電話	049-292-2071
校長	千装 将志 教頭 橋本 孝史
児童数	310名 職員数 35名

1 学校教育目標 《子どもたち一人一人が輝いている学校》

- ・ すすんで学び合う子
- ・ 仲よく助け合う子
- ・ 元気にやり抜く子

2 学校の特徴

本校は、明治6年に開校し、長い歴史と伝統をもつ学校である。昭和52年、現在地に新たに防音校舎が建てられ、中央公民館の位置から移転し現在に至っている。裏山は、関東一を誇る五大尊のツツジ園となっており、花の季節には訪れる人の波が続く。近くには越辺川も流れ、豊かな自然に生まれ、年間を通して楽しく充実した、子どもたちの学習の場となっている。

平成11年には校舎の耐震・改修工事、平成21年には各教室の大型テレビと屋上の太陽光発電装置の設置工事、そして平成26年には全教室へのエアコン設置工事が行われ、内外ともに美しく、安全で充実した学習環境を備えている。

また、平成15年度には、県教育委員会よりパイオニアスクールの指定を受け、少人数指導を中心とする学力向上について研究した。平成19年度からは、2学期制を実施し、教育活動の充実を図るとともに、梅園小学校、越生中学校と連携して学力向上の取組を進めている。また、平成24年度には埼玉県委嘱の「教育に関する3つの達成目標」の学力向上にかかる研究成果の発表を行い、この研究により平成25年度に埼玉県・教育ふれあい賞を受賞した。平成27、28年度及び平成29、30年度に、文部科学省国立教育政策研究所から小学校理科の研究指定を受け、指導法の研究に取り組み、県内外に成果を発信した。また、平成29年度には、越生町の特徴を生かした学校給食で「第12回全国学校給食甲子園」に出場し、越生町の食育が高く評価され優勝した。令和2年度にはトイレの大規模改修、令和3年度には自動水栓の設置、外トイレの改修を終え、さらなる教育環境の整備が図られた。また児童1人に1台のタブレットパソコンが整備され、多様な授業を展開している。

3 学校経営方針

- 学ぶ喜びのある学校
 - ・ 分かる、できる、伝える喜び
 - ・ 学んだことを活用する喜び
 - ・ 課題に気付く喜び
- 落ち着きと規律のある学校
 - ・ 一人一人が活躍する機会の設定
 - ・ 「越生っ子」のきまりの徹底
 - ・ 越生町「3つの園」の励行
- 安全できれいな学校
 - ・ 安全で快適な施設設備の維持
 - ・ 隅々まで行き届いた清掃
 - ・ 学習や生活に役立つ掲示
- 保護者や地域とともに歩む学校
 - ・ 子どものための連携、協力
 - ・ 学校運営協議会を踏まえた改革
 - ・ 学校、家庭、地域の一体化





梅園小学校

所在地 入間郡越生町小杉547番地
 電話 049-292-3215
 校長 岡安 明久 教頭 谷 昭博
 児童数 85名 職員数 23名

校長 岡安 明久

1 教育目標

- かしこく 楽しく学び、学力の定着を図る
- やさしく 豊かな心の育成を目指す
- たくましく たくましい心と体の育成

2 学校の特徴

本校は、越生梅林や黒山三滝などの観光名所が存在する学区である。古くより西川材の産地として有名であり、代々建具・建築、木材加工等の事業に従事する保護者が多く、3世代同居の割合も高い。本年度の新入生は12名、全校児童数84名、学級数8と少人数の特色を生かした取組をしている。

学習面では、授業の工夫・改善に常に努め、家庭学習の定着等も目指し、子ども達の学習意欲の向上を図っている。また、本校の特色の1つとして「体験活動」があり、体験活動を通じた情操教育の展開を重視している。

3 学校経営方針

スローガン「いつでも元気、本気、根気の梅園小
 きれいに ていねいに 美しく」

(1) 目指す学校像

「知」「徳」「体」のバランスのとれた児童の育成を目指し、子どもたちが安全で安心でき、保護者や地域からさらに信頼される開かれた学校づくりを目指します。

- ①「きれいに、ていねいに、美しく」 ②「美しい歌声の響く学校」
- ③「つながり・よりそい」 ④「体験活動の充実・花で潤いのある学校」

(2) 目指す子ども像

夢や希望を自分の言葉で語れる子ども
 「3つの気（元気・本気・根気）の充実」

(3) 重点目標と具体的施策

① 一人一人の学力向上と自立する力の育成

ア 一人一人の学力を伸ばす授業を実践します。
 ・外国語、外国語活動の指導の強化・タブレット等ICTの活用

- イ 個人・ペア・グループで学び合い、児童が主体的に取り組む学習を進めます。
- ウ 暗唱・掛け算九九・アルファベットなどのチャレンジ学習で記憶力を育てます。
- エ 漢検や英検などを実施し、自主学習・家庭学習の意欲付けや定着を図ります。
- オ まずはさせてみせ、様々な体験を通し、成功や失敗から学ぶ指導を行います。
- カ 人前で堂々と自分の意見を発表する力を育てます。

② 豊かな心の育成を目指す

ア コミュニケーションを通して、豊かな心を育てます。

- イ 読書活動や様々な体験活動を通して、豊かな心を育てます。
- イ 道徳授業の充実を図り、全教育活動の中で道徳的実践力を育てます。

③ たくましい心と体の育成

ア 体育授業や朝マラソン、チャレンジタイムや外遊びで体力（走力）をつけます。

- イ 規則正しい生活習慣を身につけ、健康な体をつくります。
- ウ 何事にも挑戦し、本気で取り組み、最後までやりぬく根気強さ、たくましさを育てます。





越生中学校

所在地 入間郡越生町大字成瀬 6 1 8 番地
 電話 0 4 9 - 2 9 2 - 3 1 1 4
 校長 谷ヶ崎 仁 教頭 日向野 勝
 生徒数 2 1 5 名 教職員 2 9 名

校長 谷ヶ崎 仁

1 学校教育目標

校 訓 立 志

学校教育目標 自立の力を育む

- 【目指す生徒像】
- ・志を立て 自ら学ぶ生徒
 - ・思いやりと感謝の心を持つ生徒
 - ・体を鍛え がんばり抜く生徒



2 学校の特徴

本校は、2学期制や土曜日授業のメリットを活かし、十分な授業時間を確保することで生徒の学力・体力の向上を図るとともに、学校行事や部活動にも力を入れ、「授業・部活動・行事に燃える越生中」をスローガンに生徒一人一人が活躍する場を多く設けている学校である。

環境面では、高台の広い敷地の中のコの字型の校舎を中心に、上下二面のグラウンド、体育館、武道場、プール、給食ホールを有している。平成17～18年度には校舎の耐震及び木質化工事が行われ、全教室にエアコン及び大型液晶テレビが設置された。また、平成22年度には太陽光発電設備を備えた武道場と技術科室が完成し、平成25年度にはプールの改修、さらに平成28年度には本校の特色の一つであるランチルームの大規模改修が行なわれ、県下随一の教育環境が整った中で、生徒たちは充実した学校生活を送っている。

現在、生徒や家庭・地域と教職員とが一丸となって、「越中生としての自信と誇り」をスローガンに、越生町の未来を担う人材の育成に全力を注いでいる。

3 学校経営方針

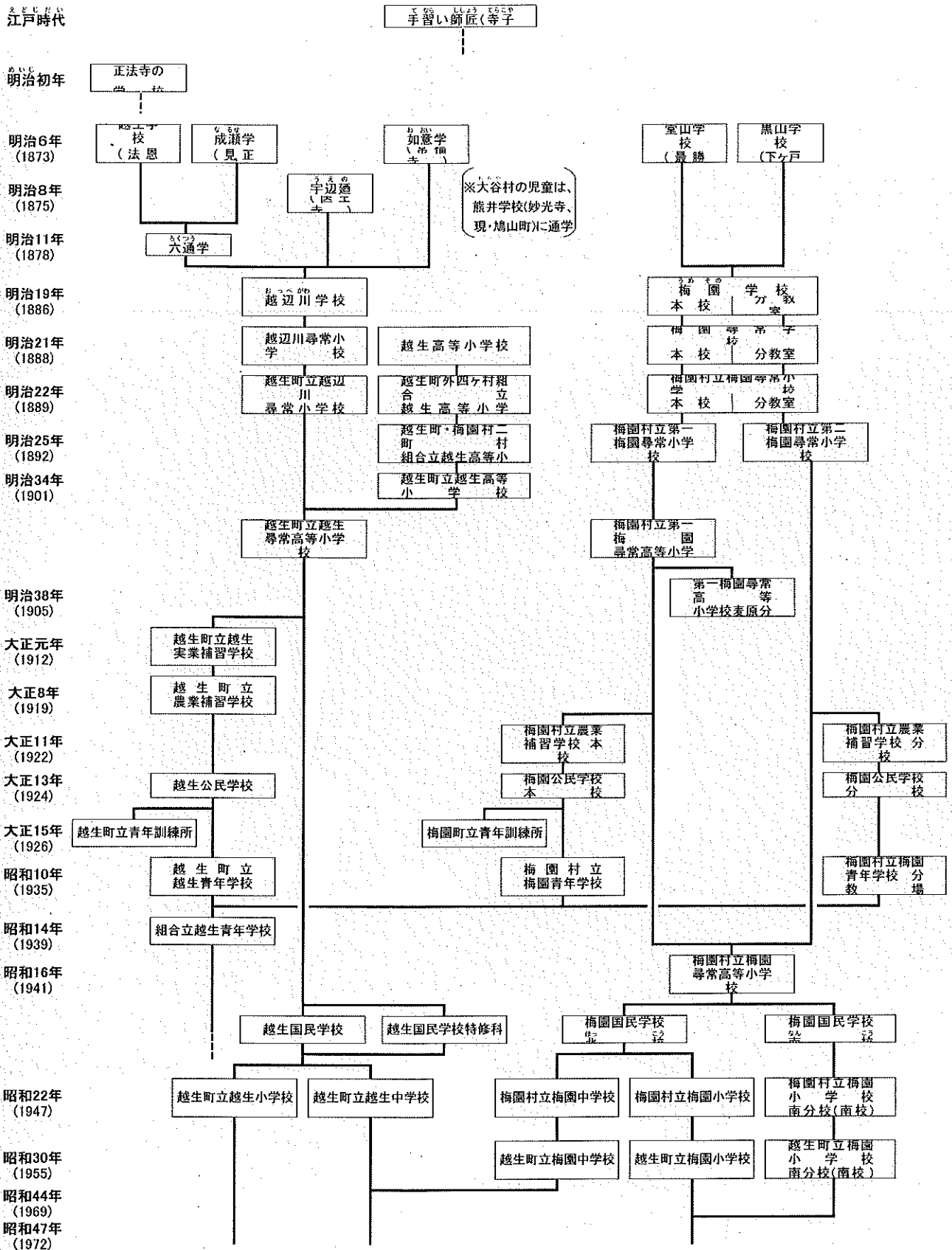
- (1) 主体的に学習に取り組む意欲を育て、「学力向上」を図る 【基礎的な学力を定着させる】
- (2) 一人一人に応じた「積極的な生徒指導・教育相談」を行う 【基本的な生活力をつけさせる】
- (3) 「豊かな心」「健やかな体」を育てる教育活動を推進する【道徳教育、3つの⊕を充実させる】
- (4) 「安心で安全な学校」づくりを推進する 【生徒事故・施設事故「0」を目指す】
- (5) 「地域とともにある学校」づくりを推進する 【保護者・地域と連携した教育活動を展開する】

4 目指す学校像

感動と笑顔があふれ、温かみのある学校

- (1) 夢や希望を抱き、自ら主体的に頑張れる学校
それぞれが夢を持ち、互いにそれを励まし合い、頑張る過程を大事にできる。
- (2) 全ての生徒にとって、居心地の良い学校
それぞれの個性を尊重し、互いを大事にできる。
- (3) 周囲に気を配り、心づかいが見える学校
あいさつを大事にし、自信をもって正しく行動することができる。

2 学校の変遷



※くわしくは、『越生の歴史 Ⅲ(近代)』第5章「越生の教育の歩み」及び、『越生の歴史 近代資料<古文書・記録>』第2章第9節「寺子屋から小学校へ」、第3章第7節「教育の組織化」、第4章第3節「学校教育の充実と青年教育」、第5章第5節「恐怖下の教育」、第6章第3節「戦時下の教育」をご一読ください。

越生小学校		梅園小学校		越生中学校	
明6	越生・如意・成瀬学校設立	明6	堂山・黒山学校設立	昭22	越生町立越生中学校
明8	宇辺廻学校設立	明19	統合して梅園小学校		梅園村立梅園中学校設立
明11	六通学校設立	明25	第一梅園尋常小学校	昭23	梅園中学校竣工
明19	統合して越辺川小学校		第二梅園尋常小学校に分かれる	昭25	越生中学校竣工
明21	越生高等小学校付設	明34	第一梅園尋常高等小学校と改称	昭44	越生中と梅園中が統合し越生町立越生中学校となる
明34	越生尋常高等小学校と改称		統合して梅園尋常高等小学校となる	昭45	校舎竣工
昭16	越生国民学校と改称	昭16	梅園国民学校と改称	昭53	ランチルーム竣工
昭22	越生小学校と改称	昭22	梅園小学校と改称	昭63	校舎大規模改造終了
昭52	防音改築により移転	昭24	南校舎増築	平3	教育用コンピュータ設置
昭53	防音校舎改築竣工	昭30	町村合併により越生町立梅園小学校となる	平9	教育用コンピュータ入替
平4	教育用コンピュータ設置	昭32	北校舎建築	平10	耐震診断
平9	耐震診断	昭48	南分校(黒山)を廃す		ランチルーム屋根塗装
平10	大規模改修・補強設計実施設計業務委託	昭57	防音校舎改築竣工	平12	体育館雨漏り改修工事
平11	大規模改修・耐震補強工事給食室改修実施設計業務委託	平6	校舎増築(コンピュータ設置)	平16	教育用コンピュータ入替
平12	給食室改修工事	平11	プールサイド改修工事	平17	教室棟大規模改修・耐震補強・空調・木質工事
	教育用コンピュータ入替	平12	教育用コンピュータ入替	平18	管理棟大規模改修・耐震補強・空調・木質工事
平13	プールサイド改修工事	平17	校地内に学童保育室開設		自動体外式除細動器導入
平16	屋上雨漏り改修工事	平18	生活排水を完全本下水化	平19	2学期制実施
	校舎内に学童保育室開設	平19	自動体外式除細動器導入	平20	体育館地震補強設計
平18	自動体外式除細動器導入	平20	2学期制実施、耐震診断	平21	体育館耐震補強及び老朽改修工事 学校ICT整備(～平22)・武道場・太陽光発電設置・技術科室建設(～平23)
平19	2学期制実施	平21	図書室空調整備		
平20	図書室空調整備	平22	校舎地震補強設計	平23	武道場・技術科室竣工
平21	学校ICT整備(～平22)	平22	校舎耐震補強及び施設維持工事	平25	教育用コンピュータ入替・プール改修・太陽光発電設置(校舎)・省エネガラス改修
	太陽光発電設置(～平22)	平25	特別支援学級「けやき」学級新設		
平22	プール等給排水工事	平26	普通教室等空調整備	平28	ランチルーム耐震改修工事
平26	普通教室等空調整備	令元	タブレットPC導入(PCルーム)		
令元	タブレットPC導入(PCルーム)	令2	タブレットPC児童一人一台整備	平30	タブレットPC導入(3校共通使用)
令2	トイレ大規模改造工事	令3	環境改善改修工事(体育館トイレ改修)	令2	タブレットPC生徒一人一台整備
	タブレットPC児童一人一台整備			令3	上グラウンド改修工事
令3	環境改善改修工事(外トイレ・水道蛇口改修)				
	体育館屋根改修工事				

3 学校保健

学校保健の推進

1 児童生徒健康管理事業

(1) 児童生徒の健康管理の充実

- ア 法定健診の実施
- イ 健康観察や法定健診の結果から疾病異常等を的確に把握し、伝染病の予防などの対策を行う。
- ウ 学校保健委員会の活動の充実により、学校と家庭の連携を図る。
- エ 新型コロナウイルス感染症への対応として、サーモグラフィーによる登校時の体温測定や、こまめな手指消毒の推奨を行う。

(2) 安全教育と安全管理の徹底

- ア 安全指導教諭を中心に児童生徒の安全指導に努める。
- イ 緊急時を想定した避難訓練等を定期的の実施。
- ウ 年に1度教職員を対象に救命救急講習会を実施。
- エ 学校安全計画に基づく定期点検、日常点検等を確実にを行う。



《越生小学校保健室》



《梅園小学校保健室》



《越生中学校保健室》

2 令和3年度 町立小・中学校身体測定結果(* 県平均は令和2年度)

項目 性別		町平均		県平均	
		身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
		男	女	男	女
小学校	1年	116.7	115.7	22.5	21.5
		118.3	117.3	22.3	21.8
	2年	121.9	120.4	26.0	23.1
		124.1	122.9	25.4	24.6
	3年	130.0	127.0	29.5	29.1
		129.8	129.1	29.1	27.7
4年	133.6	131.4	32.7	30.5	
	135.1	135.2	32.8	31.1	
5年	138.6	142.3	35.2	36.7	
	140.8	142.3	36.8	36.3	
6年	148.3	148.2	40.2	43.6	
	146.7	148.0	40.4	40.8	
中学校	1年	154.7	153.1	45.2	45.9
		153.9	152.7	45.8	44.4
	2年	160.1	155.6	50.2	50.8
161.2		155.7	50.7	48.7	
3年	165.2	155.9	54.5	49.7	
	166.3	156.8	55.4	50.2	

4 学校給食

越生小学校給食調理場

所在地 越生町大字黒岩251番地(越生小学校内)

電話 049(292)2071 FAX 049(292)2124

施設の概要

- 新築 昭和52年3月(平成12年3月増改築)
- 面積 敷地及び建物 366㎡ 鉄筋・鉄骨造
- 主要設備 回転釜、野菜裁断機、揚物機、ガスレンジ、冷凍庫、冷蔵庫、炊飯設備、真空冷却器、食器洗浄機、食器食缶消毒保管庫

越生中学校給食調理場

所在地 越生町大字成瀬618番地(越生中学校内)

電話 049(292)3114 FAX 049(292)3502

施設の概要

- 新築 昭和53年3月(平成28年9月改修完了)
- 面積 建物 661.5㎡ 鉄骨造
- 主要設備 回転釜、野菜裁断機、揚物機、冷凍庫、冷蔵庫、炊飯設備、真空冷却器、食器洗浄機、食器食缶消毒保管庫、食卓、椅子

1 沿革

越生町の学校給食は、越生小学校で昭和41年4月10日から、梅園小学校で昭和42年4月10日から自校の給食調理場にて完全給食をスタートした。

また、平成12年3月には越生小学校給食調理場で増改築が行われドライ化された。平成18年3月には、梅園小学校給食調理場を閉鎖し、同年4月からは、越生小学校調理場で小学校2校分の給食を作り、梅園小学校へ配送する親子給食を開始した。

一方中学校は、昭和53年3月に給食ホールが完成し、同年4月28日から完全給食がスタートした。この給食ホールは、生徒が一同に会し、楽しい食事を通じて生徒同士、生徒と教師間の温かな人間関係づくりの場として効果を上げている。平成28年2月に、耐震化を含めた大規模改修工事を開始し、平成28年9月に、エアコンを備えた快適なランチルームが完成した。

2 学校給食

実施状況(令和3年度)

区分	小学校	中学校
実施校	2校	1校
食費(月額)	4,000円	4,700円
年間実施回数	190回	

- (1) 給食調理業務 (株)東洋食品に委託。
- (2) 放射性物質測定 平成24年4月から埼玉県の「安全・安心のための学校給食環境整備事業」を利用し、月に1回食材検査を実施していたが、原発事故から10年が経過し、空間放射線量率が安定的に低減しており、検査開始以降、すべての検査結果が基準値以下であったことから令和3年度をもって検査終了とした。
- (3) アレルギー対応 平成25年10月に「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、それに基づき、除去食などの対応を実施。
- (4) 地場産物の利用 越生町の特産である、梅・柚子を使用したメニューを積極的に取り入れている。
- (5) 食育の推進 越生小学校配置の栄養教諭を中心に、食育だよりの配付や保護者向けの給食試食会を実施している。

Ⅲ 生涯学習

1 生涯学習

越生町教育振興基本計画では「『人』を育て『文化』育む越生教育」を基本理念として、3つの観点「地域社会づくり」「人づくり」「教育環境づくり」を掲げている。その中で生涯学習振興策として「一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進」、「『越生文化』の継承・発展」、「生涯学習環境の整備」を柱に施策を進めている。

町民の学習意欲に応えるため、趣向を凝らした事業の実施と生涯学習環境の整備に努め、趣味活動、健康づくり、奉仕活動など生きがいづくりを促進している。



生涯学習町民のつどい



子どもフェスティバル



おごせ梅の里コンサート

また、生涯学習町民のつどい、おごせ梅の里コンサートなどの開催を通じて、町民に芸術文化鑑賞の機会を提供している。

さらに、子どもや青少年を対象にした事業としては、子どもフェスティバル、子どもおはやし大会を開催しているほか、梅の里おごせ子どもサポート協議会やPTA、青少年相談員と連携して、さまざまな事業を行っている。

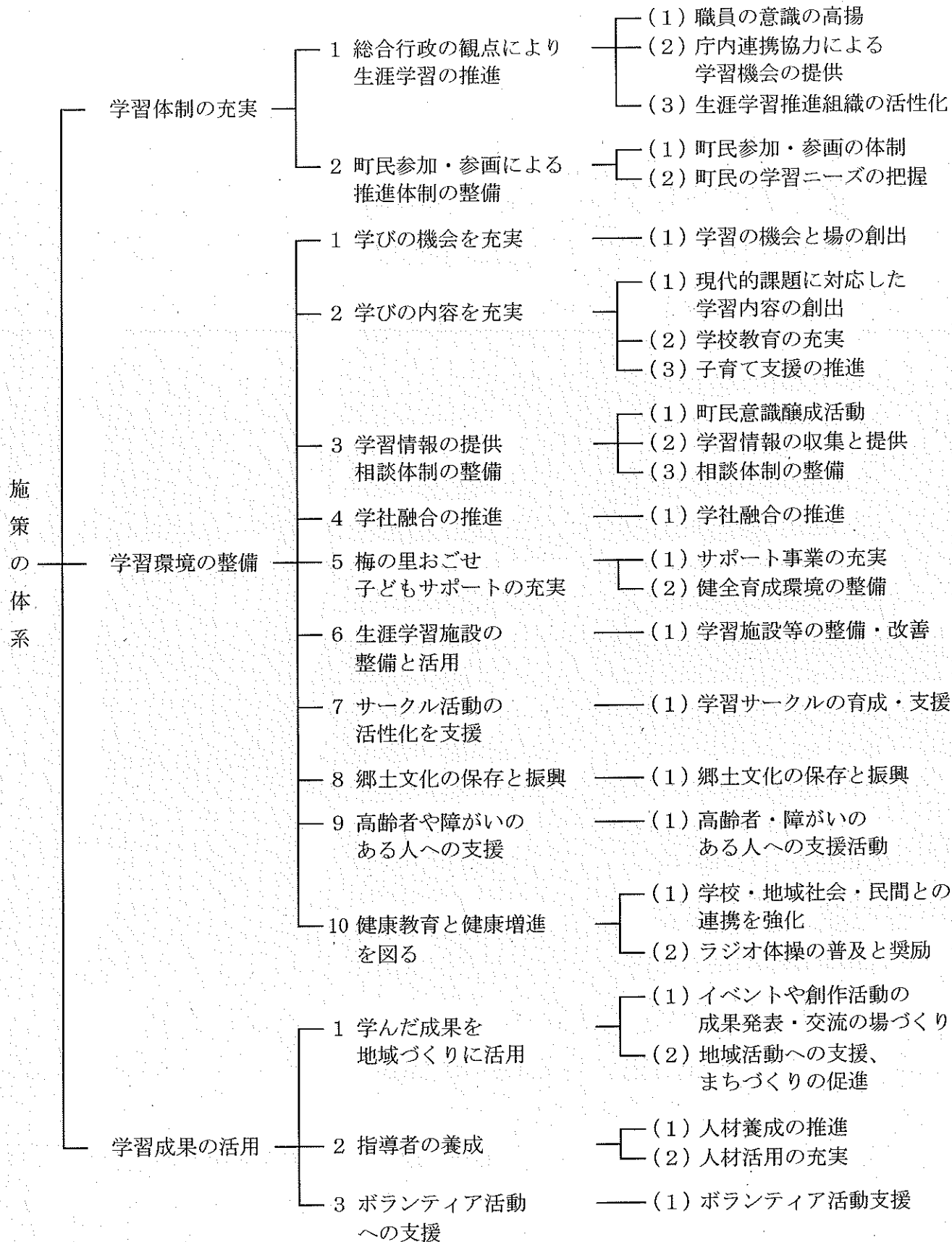
なお、令和2年度及び3年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴いすべての事業が中止となった。



子どもおはやし大会

※記録写真は令和元年度に撮影したものです

本年度も生涯学習の一層の充実を図るため、以下の施策を体系的に推進する。



2 スポーツ振興

町では、平成4年度に「健康づくりのまち」を宣言し、町民一人ひとりが自分自身の健康維持や体力づくりの活動に積極的に取り組んでいる。また、平成28年4月29日には、全国で初めて「ハイキングのまち」を宣言し、歴史・文化・スポーツ・観光を取り入れたハイキングコースを整備し、町をあげてPRに取り組んでいる。

社会体育事業では、年間を通して町民のニーズに対応するため、各種大会や教室を開催している。施設面については、運動公園（野球場、テニスコート）、いこいの広場、中央公民館体育館、武道館、弓道場などのほか、平成28年4月から、新たに、パークゴルフ場を整備し、常に安全で良好な維持に努めている。また、学校体育施設として小・中学校の体育館、新武道場やグラウンドなどを開放している。

余暇時間の増加や健康保持意識の高まりから、スポーツ、レクリエーション活動のニーズは年々活発化・多様化している。「無理なく・簡単に・いつでも・生涯にわたり続けられる」生涯スポーツの振興はますます盛んになってきた。

このため、町としては、年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず、町民誰もがスポーツを通じて21世紀の豊かさを享受できるように「する」・「みる」・「きわめる」・「ささえる」などスポーツに対する町民のかかわり方を尊重し、様々なスポーツとの出会いを通じた自己実現のための支援を行う。

令和2年3月24日に越生町と株式会社西武ライオンズがそれぞれの持つ資源をいかし、協働してスポーツ振興や青少年健全育成また、地域振興に寄与することを目的に協定を締結した。

今後も、年間を通して健康づくりを進めるため、スポーツ推進委員、地区スポーツ推進委員と連携して教室やニュースポーツの普及啓発の充実を図るとともに、越生町体育協会事業への支援を行う。また、体育施設の整備に努め、適正な管理運営を推進する。

なお、令和2年度及び3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、大半の事業や大会が中止となった。

1 社会体育の振興

- (1) スポーツ人口の拡大と新たなスポーツの普及を進める
- (2) 生涯スポーツ推進体制の充実を図る
- (3) 既存施設の適正な管理と効率的な運営に努める
- (4) 各種スポーツ大会、スポーツ教室などを開催する

2 令和4年度実施予定の主な社会体育事業

- ・グラウンドゴルフ大会（4・11月）
- ・ソフトボール大会（6・9・10月）
- ・ゴルフ大会（5・11月）
- ・ラジオ体操実践教室（6月）



ラジオ体操実践教室

- ・ラケットテニス教室（中止）
- ・バスケットボール大会（8・10月）
- ・越生町体育祭（10月）
- ・軟式野球大会（6・10月）
- ・バレーボール大会（10・12月）
- ・ソフトテニス大会（10月）
- ・卓球大会（10・11月）
- ・武道大会（11月）
- ・黒山・鎌北湖駅伝大会（12月）
- ・サッカー大会（1月）
- ・梅の里ちびっ子駅伝大会（2月）
- ・町民ふれあいスキー（3月）



越生町体育祭

※記録写真は令和元年度に撮影したものです

3 社会体育施設の貸出時間および学校体育施設の開放時間

・社会体育施設

施設名	貸出時間
中央公民館体育館	月曜日～日曜日、祝日（9:00～21:00）
運動公園テニスコート	月曜日～日曜日、祝日（7:00～19:00）
〃 野球場	月曜日～日曜日、祝日（7:00～19:00）
パークゴルフ場	月曜日～日曜日、祝日（7:00～19:00）
いこいの広場	月曜日～日曜日、祝日（7:00～19:00）
弓道場	月曜日～日曜日、祝日（7:00～21:00）
武道館	月曜日～日曜日、祝日（19:00～21:00）

・学校体育施設

施設名	貸出時間	
小学校	体育館	月曜日～日曜日（19:00～21:00） 土・日曜日、祝日（9:00～21:00）
	校庭	土・日曜日、祝日（9:00～19:00）
	中学校	体育館
中学校	校庭	月曜日～日曜日、祝日（19:00～21:00）※屋外運動場照明施設
	武道場	月曜日～日曜日、祝日（19:00～21:00）



黒山・鎌北湖駅伝大会



梅の里ちびっ子駅伝大会

3 公民館

1 基本方針

公民館は、『社会教育法』第20条に規定されている「住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」施設である。

2 目標

- (1) 学習要求に応える講座・教室等を開催し、公民館事業の充実を図る。
- (2) 生涯学習情報を提供し、学習機会の充実を図る。
- (3) 住民のニーズに応じた事業内容を把握し、利用者参画型の事業を推進する。
- (4) サークルの育成と活動を支援し、サークルの充実と会員相互の親睦を図る。
- (5) 公民館の整備・充実を図り、学習の拠点施設としての利用を促進する。

3 事業の概要

地域住民の学習要求に応じた様々な事業を実施する。

また、越生町の将来を担う子どもたちの成長のお祝いとして「七つの祝い」、若者の大人としての門出を祝う「新成人のつどい」を実施する。

なお、令和4年4月から成人年齢が18歳になったことから、「新成人のつどい」から「二十歳のつどい」に名称が変更になった。

- (1) 七つの祝い・二十歳のつどいの実施
- (2) 講座・教室の開催（教養講座、料理教室、粋生学級など）
- (3) 展示会・講演会・講習会の開催
- (4) 情報の収集と提供
- (5) 各種団体、機関等との連絡を図ること



七つの祝い



新成人のつどい

4 貸出事業

公民館及び梅園コミュニティ館は、その事業に支障のない限り、住民の集会その他の公共的利用に供するため、施設を貸し出す。

- (1) 利用時間 午前9時～午後9時
 (2) 使用料 下表のとおり

※公民館・体育施設等使用登録団体のうち、メンバーの過半数が町内者で構成される団体については使用料を免除

名 称	室 名	使 用 料		
中 央 公 民 館	和 室	1時間につき	200円	
	集 会 室	1時間につき	200円	
	調理実習室	1時間につき	300円	
	会 議 室	1時間につき	200円	
	体 育 館	全面	1時間につき	1,000円
		半面	1時間につき	800円
	視聴覚室	1時間につき	1,500円	
中央公民館分館 (ゆうがく館)	そぷらの	1時間につき	200円	
やまぶき公民館	集 会 室	1時間につき	200円	
	会 議 室	1時間につき	200円	
	学 習 室	1時間につき	200円	
	和 室	1時間につき	200円	
梅園コミュニティ館	多目的室	1時間につき	200円	
	交 流 室	1時間につき	200円	

5 施設の概要

越生町中央公民館

所在地 越生町大字越生917番地
 電 話 049-292-3223
 開館年月 昭和58年5月
 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 2332.17㎡
 館内施設 集会室1・2 会議室 調理実習室
 相談室 和室1・2 展示ホール
 談話コーナー 体育館 視聴覚室(別棟) 232席



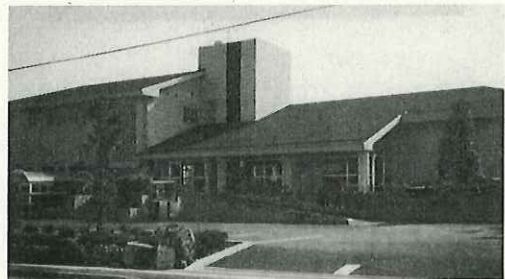
越生町中央公民館分館（ゆうがく館）

所在地 越生町大字越生908番地12
 開館年月 平成14年11月
 構造 鉄筋コンクリート造平屋建
 建築面積 313.52㎡
 館内施設 そぶらの（防音室）



越生町やまぶき公民館

所在地 越生町越生東3丁目5番地2
 電話 049-292-6511
 開館年月 平成2年4月
 構造 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 558.32㎡
 館内施設 集会室 会議室 保育室 学習室
 和室1・2 談話コーナー



梅園コミュニティ館

所在地 越生町大字小杉553番地
 電話 049-298-8525
 開館年月 平成24年4月
 構造 鉄筋コンクリート造平屋建
 建築面積 552.98㎡
 館内施設 多目的室 交流室 調理室
 梅園学童保育室 図書館分室



6 年間利用状況

年 度	中央公民館		ゆうがく館		やまぶき公民館		梅園コミュニティ館	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
平成27	974	14,049	229	2,064	1,692	19,612	74	1,530
平成28	960	13,555	232	2,399	2,132	21,343	66	1,328
平成29	930	14,441	229	2,313	1,834	21,112	81	1,411
平成30	812	13,303	208	2,001	1,750	19,789	112	1,799
令和元	703	11,023	196	1,821	1,722	18,488	155	2,056
令和2	330	3,755	74	472	951	7,297	89	813
令和3	52	1,157	106	834	992	7,769	117	1,046

7 今後の課題

- 平成25年度から、町内者が過半数で構成される利用登録団体の使用料を免除することにした。高齢化するサークルの活動支援と活性化を図るとともに、新たな団体やサークルの組織を援助する。
- 老朽化している施設や備品の日常点検を徹底し、計画的な修繕により施設の適切な維持管理を図る。

4 図書館



越生町立図書館

所在地	越生町大字越生925番地1
電話	049-292-6116
FAX	049-292-6307
開館年月	昭和60年7月
構造	鉄筋コンクリート造り2階建て
建物面積	1,092㎡
館内施設	一般開架閲覧室、児童閲覧室、 絵本コーナー、第1閲覧室、第 2閲覧室(DVD視聴コーナー、 自習コーナー)など

図書館ホームページ <http://www.lib.ogose.saitama.jp/>

1 図書館の現状

資料所蔵点数は、約8万7千点で、毎年2千点程度の資料を購入、受入している。

令和3年度の貸出点数は約4万8千点で、登録者一人当たりの貸出点数は約4点である。利用促進を図るために、過去1年間の新着図書が一目で分かるコーナーの設置、広報おごせに掲載したおすすめ図書コーナーの設置、利用実績に基づいた児童書の整備、音楽賞・映画賞受賞CD・DVDの充実などを行った。

令和元年度から、梅園コミュニティ館の館内に図書室(梅園分室)を開室し、梅園地域の読書環境の整備と読書普及に努めた。また、児童生徒の読書環境の充実と図書館の蔵書の有効活用を図るため、町立図書館の図書を小中学校図書室に定期的に配本して貸出を行った。

生涯学習の拠点として、情報ネットワークの中核として、以下の5項目を重点目標に、住民への整った読書環境と資料・情報の提供に取り組んでいる。

- ① 資料(図書・雑誌・CD・DVD)の充実と利用促進
- ② 児童サービスの充実
- ③ 学校図書館との連携
- ④ インターネット蔵書検索・予約システムの活用
- ⑤ 施設・設備の適切な維持管理



1階 新聞雑誌コーナー



越生町関連図書コーナー

【開館日】

火～日曜日 午前9時30分～午後5時30分

【休館日】

本館：月曜日、祝日(ただし、土・日曜日に重なった場合は開館。月曜日に重なった場合は翌火曜日も休館)、年末年始、特別整理期間。

梅園分室：年末年始、特別整理期間。

2 事業の概要

- (1) 資料の充実
購入・寄贈による収集と貸出の促進
- (2) 梅園分室の整備
梅園コミュニティ館内にある梅園分室の円滑な運営
- (3) 読書普及のための事業の実施
図書館子どもまつり、おはなし会、万葉集講座、論語講座、古文書入門講座、おりがみ教室、リサイクルコーナー
- (4) 視聴覚資料の利用促進
CD及びDVDの充実、DVD視聴コーナーの活用

3 資料所蔵点数 (令和3年度実績)

種別	購入	寄贈	除籍	総点数
一般書	861冊	285冊	0冊	56,485冊
児童書(絵本・紙芝居含む)	821冊	21冊	0冊	25,860冊
雑誌	440冊	35冊	459冊	1,148冊
CD	7点	0点	0点	2,777点
DVD	20点	0点	0点	1,525点
合計	2,149点	341点	459点	87,795点

4 令和3年度利用状況 (※人口は令和4年4月1日現在)

(1) 登録率

登録者数 10,290人(町民)
 $\frac{10,290}{11,193} = 91.9\%$
 人口 11,193人

(2) 回転率

貸出点数 48,949点
 $\frac{48,949}{86,647} = 56.5\%$
 蔵書点数 86,647点

(3) 町民1人当たりの貸出点数

貸出点数 43,172点(町民)
 $\frac{43,172}{11,193} = 3.9$ 点
 人口 11,193人

(4) 登録者1人当たりの貸出点数

貸出点数 48,949点
 $\frac{48,949}{11,604} = 4.2$ 点
 総登録者数 11,604人

(5) リクエスト件数 5,169件

(6) 図書館相互貸借件数 (※埼玉県内の市町村立図書館) 借受1,217点/貸出1,186点

(7) 図書館広域利用件数

利用人数945人/貸出点数4,587点
 (※川越都市圏まちづくり協議会加盟市町及び鳩山町)



屋外南側の緑陰読書スペース

5 文化財保護

越生町には、国指定2件、県指定17件、町指定35件、国登録5件をはじめとするさまざまな文化財がある。恵まれた自然と特色ある歴史環境の中で守り伝えられてきた、町民共有のかけがいのない財産である文化財の適切な保護・保存策を講じて、町民の郷土に対する理解と関心を高め、併せて観光や地域振興と連携した活用を図ることが必要である。

町では、有形・無形文化財や天然記念物の維持管理や修復、民俗芸能保存団体への助成、美術工芸品、建造物、古文書、埋蔵文化財などを対象とした調査を実施している。また、昭和52年度から平成20年度まで、町史編さん事業を実施し、調査成果は『調査報告集』『越生叢書』『越生の歴史』『越生の自然』にまとめ公刊した。

調査の過程で蓄積された資料の保存と公開、点在する史跡や文化財を有機的に結ぶ「おごせは町ごと博物館」構想の具体化が今後の課題である。

主要事業の概要

平成30年度

- (1) 1市3町巡回合同企画展『越辺川流域の歴史・文化』図録刊行
- (2) 「渋沢平九郎自決の地」(町指定史跡)「渋沢平九郎の墓」解説板・指導標設置整備
- (3) 県指定天然記念物候補「龍ヶ谷の障子岩」周辺整備に協力
- (4) 登録有形文化財候補建造物「世界無名戦士之墓」「星野家住宅」調査
- (5) 見学会・研修会・講演会等への協力
- (6) 指定文化財等管理費補助

令和元年度

- (1) 県指定天然記念物「上谷の大クス」倒木撤去及び倒伏対策事業
- (2) 「世界無名戦士之墓」と「星野家住宅」が、国登録有形文化財に登録の答申
- (3) 町指定文化財「黒岩町山車」修復事業
- (4) 「龍ヶ谷の障子岩」県指定天然記念物指定

令和2年度

- (1) 県指定天然記念物「上谷の大クス」倒伏対策事業
- (2) 太田道灌像建立事業
- (3) 渋沢平九郎案内板・指導標の新設
- (4) 文化財解説リーフレット『太田道灌と越生』『五大尊写し霊場』改訂版刊行
- (5) 見学会・研修会・講演会等への協力

令和3年度

- (1) 県指定天然記念物「上谷の大クス」倒木対策工事事業
- (2) 県指定天然記念物「龍ヶ谷の障子岩(断層鏡肌)」説明板設置事業
- (3) 文化財普及活用事業「越生に散った若き志士 渋沢平九郎展」を開催
- (4) 文化財解説リーフレット『渋沢平九郎』作成・発行
- (5) 見学会・研修会・講演会等への協力



「渋沢平九郎展」(道灌おもてなしプラザ)



文化財解説リーフレット『渋沢平九郎』

指定文化財等一覧

令和4年4月 現在

国指定重要文化財：2件

種類	名称	員数	所有者(管理者)	指定年月日
絵画	絹本著色高野明神像・丹生明神像	2幅	法恩寺㊦	明治39.4.14
〃	絹本著色釈迦三尊及阿難迦葉像	1幅	法恩寺㊦	大正3.4.17

国登録有形文化財：5件

種類	名称	員数	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財	岡野家住宅店蔵	1棟	個人	平成20.7.8
〃	岡野家住宅土蔵	1棟	個人	平成20.7.8
〃	金子家住宅主屋	1棟	個人	平成26.4.25
〃	星野家住宅主屋及び袖蔵	1棟	個人	令和2.4.3
〃	世界無名戦士之墓	1棟	一般財団法人 世界無名戦士之墓顕彰会	令和2.4.3

県指定有形文化財：7件

種類	名称	員数	所有者(管理者)	指定年月日
建造物	龍穩寺経蔵	1棟	龍穩寺	昭和58.3.22
彫刻	木造如意輪観音半跏像	1軀	如意輪観世音檀徒	昭和39.3.27
〃	木造薬師如来立像	1軀	(越生町教育委員会)㊦	平成3.12.6
〃	木造五大明王像	5軀	黒岩区㊦	平成12.3.17
工芸品	龍穩寺銅鐘	1口	龍穩寺	昭和48.3.9
〃	金銅装説相箱及び戒体箱	3口、1合	法恩寺㊦	平成28.3.15
絵画	絹本着色兩界曼荼羅	1幅	法恩寺㊦	平成18.3.17

県指定記念物：10件

種類	名称	員数	所有者(管理者)	指定年月日
旧跡	太田道真退隠地		建康寺	昭和36.9.1
〃	田代三喜生地		個人	昭和36.9.1
〃	伝山吹の里		越生町	昭和36.9.1
名勝	越生の梅林		越生梅林保勝会	昭和15.3.31
天然記念物	上谷の大クス	1本	個人(越生町)	大正11.3.29
〃	黒山の特殊植物群落		個人(黒山区)	昭和31.11.1
〃	大高取山のコシダ群落		越生町	昭和39.3.27
〃	龍穩寺の着生植物群		龍穩寺	平成25.3.12
〃	梅園神社のスダジイ林		梅園神社	昭和49.5.28
〃	龍ヶ谷の障子岩(断層鏡肌)		個人	令和2.2.21

町指定有形文化財：21件

種類	名称	員数	所有者(管理者)	指定年月日
建造物	龍穩寺の山門(無相門)	1棟	龍穩寺	昭和46.2.2
〃	大宮神社本殿	1棟	大宮神社	平成12.8.24
〃	八幡神社本殿	1棟	八幡神社	平成12.8.24
〃	梅園神社本殿	1棟	梅園神社	平成12.8.24
〃	熊野神社社殿	1棟	熊野神社	平成12.8.24
彫刻	大宮神社の聖天像	1軀	大宮神社	昭和37.2.14
〃	高蔵寺の地藏像	1軀	高蔵寺㊦	昭和37.2.14

〃	中村薬師像	1軀	(越生町教育委員会) ㊦	昭和37.2.14
〃	下ヶ戸薬師十二神将像	12軀	(越生町教育委員会)	昭和49.11.28
〃	法恩寺大日如来坐像	1軀	法恩寺	昭和57.6.25
〃	見正寺聖観音立像	1軀	見正寺	昭和57.6.25
〃	石造役行者坐像 付 石像4軀	5軀	個人(黒山区)	平成19.4.17
工芸品	八幡神社の金剛盤	1面	八幡神社 ㊦東京国立博物館	昭和37.2.14
〃	最勝寺の笈	1背	最勝寺	昭和46.2.2
典籍	法恩寺年譜	2冊	法恩寺 ㊦	昭和38.3
〃	龍穩寺一切藏経	一括	龍穩寺	昭和56.7.10
考古資料	興禅寺の板碑	1基	興禅寺	昭和37.2.14
〃	大平山栄円の墓	1基	個人(黒山区)	昭和37.2.14
歴史資料	梅園神社の棟札	28枚	梅園神社 ㊦埼玉県立文書館	昭和37.2.14
〃	亀田鵬斎書 幟	1対	上町区	平成21.7.27
〃	鈴木金兵衛の巡拝碑と句碑	巡拝碑104基 句碑7基	黒岩区(越生町)	平成26.4.9

町指定民俗文化財(有形) : 8件

種類	名称	員数	所有者・管理者	指定年月日
有形民俗	越生神社祭典 河原町山車	1基	河原区	昭和63.4.1
〃	〃 新宿町山車	1基	新宿区	昭和63.4.1
〃	〃 上町山車	1基	上町区	昭和63.4.1
〃	〃 仲町山車	1基	仲町区	昭和63.4.1
〃	〃 本町山車	1基	本町区	昭和63.4.1
〃	〃 黒岩町山車	1基	黒岩区	昭和63.4.1
〃	越生神社 神輿	3基	越生神社	平成23.9.28
〃	西和田天王社 神輿	1基	西和田尾崎・山田組	平成24.7.13

町指定民俗文化財(無形) : 4件

種類	名称	員数	所有者・管理者	指定年月日
無形民俗	八幡神社の獅子舞		津久根獅子舞保存会	昭和49.11.28
〃	東山神社の獅子舞		上野獅子舞保存会	平成9.4.1
〃	梅園神社の獅子舞		梅園獅子舞保存会	平成9.4.1
〃	住吉神社の獅子舞		麦原獅子舞保存会	平成9.4.1

町指定記念物 : 2件

種類	名称	員数	所有者・管理者	指定年月日
史跡	渋沢平九郎自決の地		(黒山区)	昭和37.2.14
天然記念物	龍ヶ谷のヤマザクラ	1本	個人	平成9.4.1

㊦は、寄託資料。(注記がないものは、埼玉県立歴史と民俗の博物館に寄託)

指定文化財等件数

国		県		町				計
重要	登録	有形文化財	記念物	有形文化財	有形民俗	無形民俗	記念物	
2	5	7	10	21	8	4	2	59

教育委員会委嘱等委員一覧

1 就学支援委員

令和3年4月1日～令和5年3月31日

学校医代表	市川 正之
心理学専門家	齋藤 友介
毛呂山特別支援学校教諭	北村くるみ
越生小学校 校長	千装 将志
教諭	下田 里菜
梅園小学校 校長	岡安 明久
教諭	田原 和重
越生中学校 校長	谷ヶ崎 仁
教諭	秋馬 孝文
越生みどり幼稚園 園長	篠原 民子
山吹保育園 園長	黒田 一絵
越生保育園 園長	清水 広美
保健センター	町田 京子

3 学校医等

令和4年4月1日～令和5年3月31日

<内科医>

越生小学校	中野 裕史
梅園小学校	市川 正之
越生中学校	本清 憲一

<耳鼻科医>

越生小学校	久保田 修
梅園小学校	
越生中学校	

<眼科医>

越生小学校	石川 克也
梅園小学校	
越生中学校	

<歯科医>

越生小学校	荒井 洋充
梅園小学校	市川 智久
越生中学校	柘植 泰美

<学校薬剤師>

越生小学校	小林知嘉子
梅園小学校	
越生中学校	

2 学校給食運営委員

令和4年4月1日～令和5年3月31日

越生小学校 校長	千装 将志
養護教諭	福島 美乃
栄養教諭	小林 洋介
PTA会長	横田 尚也
梅園小学校 校長	岡安 明久
養護教諭	白川 沙帆
PTA会長	相庭 克行
越生中学校 校長	谷ヶ崎 仁
教諭	下里 美樹
養護教諭	石田美紀子
PTA会長	関根 隆之
校 医	市川 正之
薬 剤 師	小林知嘉子

4 文化財保護委員

令和4年4月1日～令和6年3月31日

委員 長	山口 真澄
副委員 長	草地 明子
同	竹内 啓
同	石井 健

5 スポーツ推進委員

令和3年4月1日～令和5年3月31日

委員 長	岩鼻 昭夫
委 員	宮崎貴美江
同	新野 敦子
同	福嶋 清一
同	三浦 由恵
同	間々田泰輝
同	島田 英武
同	能仲和歌子

6 社会教育委員

令和3年4月1日～令和5年3月31日

委員 長	元中学校長	原 邦宏
委 員	元子ども会会長	島田 理恵
同	元中学校PTA会長	松島 郁子
同	元小学校教員	伊藤美知子
同	元高等学校教頭	新井 良二
同	公民館利用サークル	高木 隆
同	梅園小学校長	岡安 明久

「上谷の大クス」倒木対策工事業

「上谷の大クス」(県指定天然記念物)は、3ヶ年の保護対策事業を終え、西株の大枝を支える支柱が計3本設置された。



「龍ヶ谷の障子岩(断層鏡肌)」説明板設置事業

「龍ヶ谷の障子岩(断層鏡肌)」は、龍穩寺から野末張見晴台へ向かう林道梅本線の脇道(梅本支線)にそびえる一枚岩(幅56m、高さ50m)で、断層運動により磨かれた断層鏡肌をもち、地元では「鏡岩」とも呼ばれている。断層下部には、運動時の摩擦によって刻まれた多数の平行する擦り傷(スリッケンライン)が確認でき、地域の成り立ちを知るうえで学術的価値が高いと評価された。

令和2年2月21日付で、当町では46年ぶり、6件目となる埼玉県の天然記念物に指定された。

これに伴い来訪者の増加が見込まれるため、断層の成因などを図解した解説板を設置した。



教育要覧

おごせの教育

令和4年度

令和4年5月

編集・発行

越生町教育委員会

埼玉県入間郡越生町大字越生917番地

電話 049-292-3121(代)

eメール kyouiku1@town.ogose.saitama.jp